

農村ツーリズム展開方針

令和 2 年 (2020 年) 5 月 22 日
渡島総合振興局

1 地域の現状

渡島地域は、太平洋と日本海、津軽海峡に囲まれ、温暖な気候で、米、花き、酪農など地域ごとに特色のある農業、トドマツ、スギなどの林業、イカ釣りやホタテ、コンブなどの養殖を含めた多種多様な漁業等、バラエティ豊かな産業が展開されている。

また、函館周辺地域には大学等の高等教育機関や試験研究機関が集積しており、これらの機関や地域の企業等との連携による共同研究が進められているほか、北海道新幹線や高規格幹線道路、空港や港湾など交通・物流の拠点も有している。

これらの強みを活かすべく「食」や「観光」など地域を支える産業の振興や企業誘致等を推進しているところであるが、一方で就学や就職を契機とした若年層をはじめとする人口流出が顕著である。

2 地域の抱える課題

渡島地域の農業は、農業産出額は増加しているが、販売農家戸数が道内他地域よりも減少し、担い手不足や高齢化の進行と合わせ、労働力、人材確保への対応が急務である。また、雪解けが早く農耕に適した期間が長いため、様々な品目が収穫可能で単位面積当たりの収益は大きい反面、経営規模は小さく、農業就業者数も減少していることから、農作業の効率化や省力化が課題となっている。

一方、観光業では、新幹線開業効果の縮小や、胆振東部地震による全道的な影響も受けつつも、プロモーション効果等もあり回復傾向にあったが、今般新型コロナウイルスの影響により国内外の宿泊客・来訪者数は大きく減少する見通しとなっている。

3 今後の展開方針

- 農林水産業のほか、歴史や縄文文化を物語る遺跡群もあり、多様な地域資源を活かした農泊等の推進や、教育旅行の受入拡大による交流・関係人口の増加を図り、将来の地域における就労・就学等につなげるとともに、受入を通じた地域関係者の連携や地元の魅力の再確認による地域の活性化を目指す。
- 各種商談会等において、道外からの教育旅行受入拡大を進めるとともに、教育旅行の実施を希望する学校と教育旅行を受け入れる地域の生産者間の連絡調整、受入時の円滑なサポート等を担うことができる人材の育成を行う。
- 今後の北海道新幹線札幌延伸による道内外の交流人口の拡大を見据え、食や観光資源の磨き上げ、地域の魅力発信、外国人観光客に対応するガイドの育成、さらには二次交通の利便性向上などに官民連携して取り組み、受け入れ体制を整備していく。
- 新型コロナウイルス収束後の観光需要の早期回復を図るため、国費予算の活用や地域の要望を取り入れた施策の実現を積極的に働きかけていく。
- セミナーや勉強会等の開催により補助事業制度を周知するとともに、関係者への事業採択に向けた助言・指導や事業実施に当たっての協力など、地域に密着した支援を行う。